

**平成 28 年度 CO2 排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業  
重点課題**

分野	番号	技術の内容・性能
交通	1-①	最新のディーゼル重量車から CO2 排出量を 10%程度削減し、長距離走行が可能な天然ガストラックの開発・実証
	1-②	プローブ情報や車両管理システム等のデータを活用した既存車両の CO2 排出量を 15%以上削減できる低炭素利用システムの開発・実証
	1-③	水素の分離・回収・貯蔵等の省エネ・低炭素化により燃料電池車両等の利用促進に資する技術の開発・実証
建築物等	2-①	三重効用化や再エネ熱・未利用熱利用等による高効率吸収式冷温水機（COP2 程度、空調用温度域での利用）の開発・実証
	2-②	食器洗い乾燥機や浴室乾燥機へのビルトインが可能な小型ヒートポンプ（COP2 程度、乾燥用温度域での利用）の開発・実証
	2-③	ヒートポンプを利用した空調機器の大幅な高効率化に向けた新たな熱利用機構（例：エジェクタサイクル、磁気ヒートポンプ等）の実用化開発
	2-④	住宅向け太陽光発電等の再生可能エネルギーを有効利用し、建材等にビルドインが可能な蓄電池（長寿命化、省スペース化）の開発・実証
再生可能 エネルギー・自立分 散型エネ ルギー	3-①	既設の風力発電施設の年間発電量を 10%程度増加させる技術の開発・実証
	3-②	低温（60～80℃程度）の未利用熱源で発電する高効率なバイナリー発電システムの開発・実証
	3-③	小型（5～10kW）で高効率（発電効率 50%程度）かつ低コストな業務用中低温型燃料電池の開発・実証
バイオマ ス・循環資 源	4-①	国内で発生する木質バイオマス等を活用した総合効率 80%程度のコージェネ（製品化されていない数百 kW 規模）の開発・実証
	4-②	従来の木質バイオマスに加え、性状の異なるバイオマスの利用が可能な、自動運転機能付きの小規模（数百 kW 程度）な熱利用システムの低コスト化（現状比 30%程度低減）に関する開発・実証
	4-③	ごみ発電施設の稼働に伴う発電効率の低下を 50%程度抑制する保守技術の開発・実証
	4-④	熱回収率が 12%（100 t / 日規模の場合。廃棄物燃料製造施設の場合には、これに相当する CO2 削減効果を有する施設）以上であり、かつ低コスト（同規模の単純焼却炉から 2 割程度低減）の廃棄物処理施設の開発・実証